

氏名： 藤崎 宏子 (IKEOKA Hiroko)
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
職名： 教授
学位： 家政学修士 (1978 年、お茶の水女子大学) / M.A.in Home Economics
社会学博士 (1998 年、筑波大学) / Ph.D.in Sociology
専門分野： 家族社会学 / family sociology、福祉社会学 / welfare sociology
URL： <http://www.soc.ocha.ac.jp/fujisaki/>
E-mail： fujisaki.hiroko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

高齢者 / 家族 / 福祉政策 / 社会的ネットワーク / ライフコース
senior citizen / family / welfare policies / social network / life course

◆主要業績

総数 (3) 件

- ・藤崎宏子・平岡公一・三輪建二編『ミドル期の危機と発達』金子書房
- ・藤崎宏子「訪問介護の利用抑制にみる『介護の再家族化』－9年目の介護保険制度」『社会福祉研究』第103号
- ・藤崎宏子「『修正直系家族』のその後－那須宗一の議論を手がかりに」『ダイア・ニュース』No.53

◆研究内容 / Research Pursuits

- ① 高齢者介護における公私の機能分有。とくに、介護保険制度の導入が、高齢者の家族関係や高齢者介護をめぐる家族的責任に及ぼした影響に関する研究
 - ② 高齢期の家族関係、友人関係、地域社会とのかかわりや社会活動のあり方に注目した、高齢期のライフスタイルに関する研究
 - ③ 中高年期の転機と危機的移行、世代間関係に関する研究
- ① The functional sharing of elderly care between formal and informal sectors, focusing on the family's care provider role. The impact of enactment of Long-term Care Insurance (Kaigo Hoken) on family relations and family responsibilities.
 - ② The lifestyle of elderly, including their family relations, friendship, social activities, and consciousness of autonomy, based on the theory of social networks and life course.
 - ③ Critical transitions and turning points in midlife. Generational relationship of midlife.

◆教育内容 / Educational Pursuits

【学部教育】

家族関係論：歴史変動と文化比較を軸とする日本の家族の現状に関する講義
社会福祉学：社会福祉の法制度の概要とサービス利用の諸問題に関する講義
老年学：老年学の成立と背景、その主要なトピックに関する講義
生活福祉学演習：社会学の基礎的文献の講読・論文指導

【Undergraduate courses】

Sociology of Family
Sociology of Social Welfare
Gerontology

【Graduate seminars】

Family and Life Course Seminar
Family Sociology Seminar
Family Transition Seminar

【大学院教育】

生活福祉論：ライフコース論に関する文献講読
生活福祉論演習：家族と福祉政策に関する文献講読
家族社会学：構築主義的家族研究に関する文献講読
家族変容論：家族研究・福祉研究の理論的基礎の強化と論文指導

◆研究計画

- ① 21世紀COEプログラムのプロジェクト研究、及び2006-2008年度科学研究費補助金による、中高年者の危機的移行と世代間関係に関する調査研究をさらに継続的に行っていく。同一対象に対する2度の質問紙調査、1度のインタビュー調査により得たデータの詳細な分析を行う予定である。
- ② 高齢者介護政策の動向と家族介護の実態との間に生じている諸問題に関するこれまでの研究を整理し、できれば単行本にまとめたいと考えている

◆メッセージ

「あたりまえ」の世界に安住しないで疑ってみること、あるいは視点を少しずらして別の面を見ようとする。そんなちょっとした冒険が、あなたの世界を広げ、より豊かなものにしてくれるでしょう。社会学の研究テーマは無限です。研究すること、自分が生活すること、そして生きることそのものが密に絡み合っているところが社会学の魅力であり、同時にしんどさでもあるかもしれません。閉塞感の強い時代ですが、だからこそ、自分について、周囲の人間関係について、そして社会のしくみについて、社会学的思考の武器をもって、深く掘り下げていきましょう